

インフルエンザA型(H1N1)

<第15報>

2009年9月10日

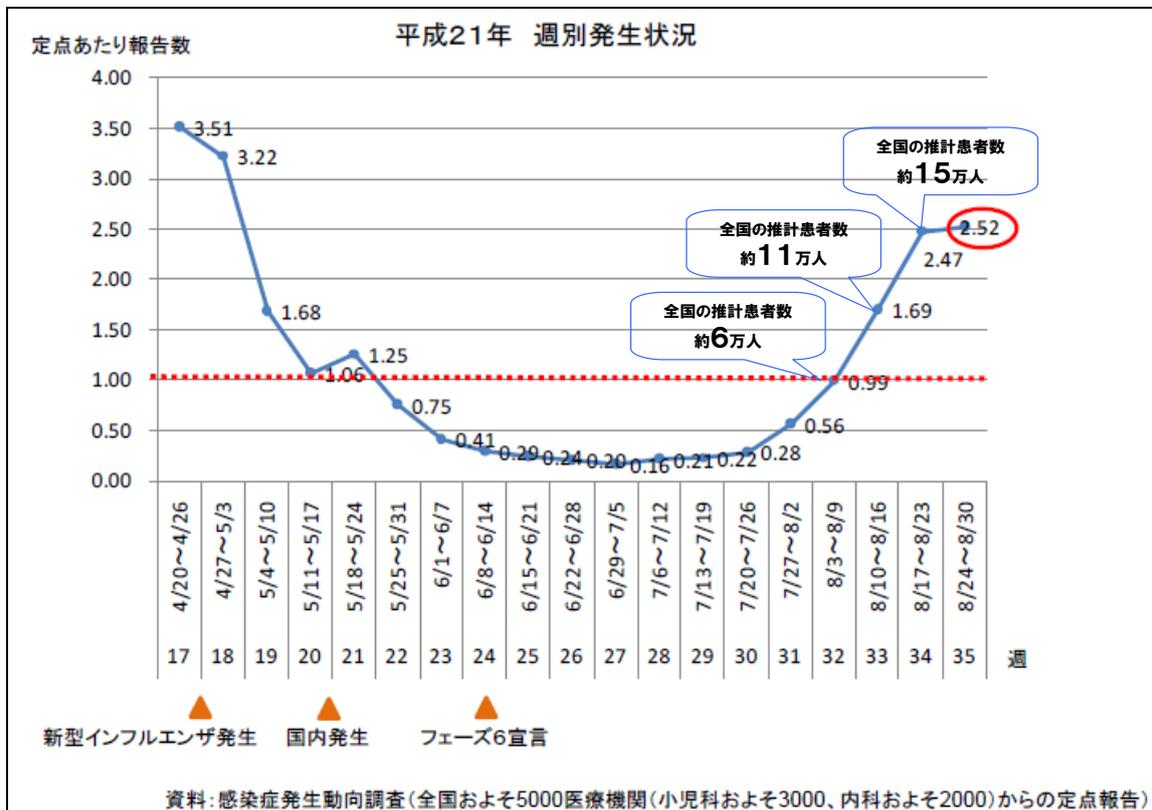
HEADLINES

- ◆ 新型インフルエンザの感染拡大続く
- ◆ ワクチン接種は10月下旬以降
- ◆ 死亡例の大半に基礎疾患者

新型インフルエンザの感染拡大続く

厚生労働省は9月9日、新型インフルエンザA型(H1N1)の集団感染の件数が、同6日までの1週間で2,318件に達し、前週の約1.65倍だったと発表した。都道府県別では東京(350件)が最も多く、大阪(316件)、千葉(170件)、北海道(111件)、神奈川(111件)が続いた。感染は、8月中旬から2週間続けて1週間当たりの新規感染者が10万人を超えたと推計されるなど、拡大が続いている(表1参照)。重症化して入院するケースも報告されており、重症化するリスクの高い「ハイリスク者」たちに注意を呼びかけている。

表1:インフルエンザサーベイランス



出典:参考資料2:「新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチンの接種について(素案)」をみていただくために(厚生労働省 平成21年9月)

ワクチン接種は10月下旬以降

厚生労働省は8日、新型インフルエンザ・ワクチン接種の優先順位や開始時期などの実施案を発表した。接種の開始は10月下旬以降で、医療体制への影響や、重症化するリスクを考慮して、下記の優先順位で接種する方針。

優先順位：

- 医療従事者
- 妊婦、重症化リスクとなる基礎疾患のある人
- 1歳～就学前の小児
- 1歳未満の小児の親

接種の費用は原則自己負担とし、費用は全国一律で数千円になる見通し。低所得者には費用負担の免除や軽減を検討しているという。

ワクチンは来年3月までに1,800万人分を国内で製造できるとしているが、政府としては6,000万人分を確保したい考えで、不足分は輸入で賄う方針。ただ、副作用など安全性を疑問視する声もあり、今後、議論を呼ぶ可能性がある。

死亡例の大半に基礎疾患者

感染が広まる中、8月中旬以降、感染者（疑い例も含む）の死亡する事例が報告されており、その数は12人となった（別紙参照）。死亡者の大半は基礎疾患のある「ハイリスク」の患者だったが、中には基礎疾患のない人もいた。死亡例の特徴をまとめた。

性別	特に偏りはない（男性：7人 女性：5人）
年齢層	30～90歳代と幅広い。（12人中7人が60代以上） 感染者数が多く、海外では多数の死亡例が報告されている10代など、若年層の死亡例はない。
基礎疾患	12人中9人は厚生労働省が「ハイリスク」とする基礎疾患を有していたり、免疫が下がっていたりしたが、2人はてんかんや高血圧症があったものの、「ハイリスク」とされる疾患はなかった。1人は基礎疾患はなかったとされる。
地理的要因	とくにない。北海道から沖縄まで、死亡例が報告されている。
発症（発熱等）から死亡までの日数	1日～7日（平均3.0日）
感染経路	入院先や、通っていた施設で感染した可能性がある例があるものの、基本的に経路は不明。海外渡航歴の情報もなく、国内での感染と見られる。

別紙：国内の新型インフルエンザ死亡者症例

日付	年齢層	性別	基礎疾患など	経過	発症(発熱等)から死亡までの日数	直接の死因	都道府県
8月15日	50代	男性	慢性腎不全で人工透析を受けており、心筋梗塞(こうそく)の治療歴あり	9日にのどの痛みとせき。 10日に透析を受けた際、発熱、インフルエンザの簡易検査受けるも陰性。 12日の透析の際に熱が39度。再検査でA型陽性と判明。透析後、タミフルを投与。 同日、沖縄市内の総合病院に入院。14日から心機能が低下し、15日に死亡。	5日後	新型インフルエンザから肺炎を起こしたことによる敗血症性ショック	沖縄県
8月18日	70代	男性	糖尿病による腎不全で週3回、透析治療を受けていた	16日、38度の発熱。 17日に市内の医療機関を受診。肺炎を疑われるも、インフルエンザの簡易検査は陰性。再検査で陽性。 発熱や呼吸困難などの症状が続き、18日に容体が急変し、死亡。その後、ウイルスの遺伝子検査(PCR検査)で新型インフルエンザ感染が確定。	2日後	急性気管支炎による肺気腫の悪化で、感染が急性気管支炎を引き起こした可能性もあり	兵庫県
8月19日	80代	女性	多発性骨髄腫と心疾患を患っていた	13日、39.5度の高熱があったため救急外来を受診してそのまま入院。 簡易検査でA型陽性、遺伝子検査(PCR検査)で18日に新型インフルエンザと確認。 19日未明、死亡した。	6日後	新型インフルエンザから引き起こした重症肺炎	愛知県
8月26日	70代	女性	基礎疾患と呼べるものはないが、元々体が弱く抵抗力がなかったという	市内の病院に長期入院中の24日、高熱が出て、簡易検査でA型陽性。 25日午前、死亡した。	翌日	細菌性の誤嚥(ごえん)性肺炎	愛知県
8月27日	30代	男性	慢性心不全と糖尿病、気管支ぜんそくなどの持病 (その他)アトピー性皮膚炎、肥満	20日、せきなどの症状を訴える。 23日に37.9度の発熱、肺炎を併発したため25日に入院。 26日、呼吸困難に陥りICU(集中治療室)で人工呼吸器をつける。 簡易検査を3回実施するもいずれも陰性。遺伝子検査を実施し、26日に新型インフルエンザの感染を確認。 27日、死亡を確認	4日後	ウイルス性肺炎による呼吸不全	長野県
8月29日	60代	女性	数年前、消化器のがんの手術歴あり。今年、肺への転移も確認されていた。	27日、38度の発熱。 28日朝入院し、タミフルを投与。 29日未明、死亡した。	2日後	肺の機能が急激に低下し呼吸困難になる「成人呼吸促迫症候群」	鹿児島県
8月29日	30代	女性	てんかんの既往歴	26日にてんかんの発作を起こす。 27日、39度の発熱とせきの症状。A型への感染を確認。タミフルを処方され自宅療養。 29日未明、容体が急変し、搬送先の病院で死亡を確認。 PCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性と判明した。	2日後	不明	兵庫県
8月30日	40代	女性	高血圧症	29日、インフルエンザA型と診断される。 30日午後2時ごろ、宿泊先のホテルで意識不明の状態で見つかるのをホテル従業員が発見。 その後、医師が死亡を確認。 31日、新型インフルエンザ感染を確認。	翌日	急性心不全	北海道
9月1日	70代	男性	慢性閉塞(へいそく)性肺疾患や糖尿病	7月20日、持病で高知市の病院に入院。 8月27日に外泊。 29日に体のだるさを訴え、31日には38度の発熱。 9月1日朝、A型陽性との診断でタミフルを処方されたが、同日午後8時に死亡。 (注:新型インフルエンザへの感染は未確認だが、可能性が高いとして「感染者」扱い)	翌日	慢性閉塞性肺疾患による呼吸不全	高知県
9月2日	60代	男性	慢性呼吸器疾患、慢性心疾患	肺気腫で入院。 8月25日に発熱、26日に感染を確認、タミフル投与される。 31日、解熱したため、心疾患治療で別の病院に。 9月1日、容体が急変、2日夕に死亡。	7日後	ウイルスなどが関係する劇症型心筋炎とみられ、府は「インフルエンザが心筋炎を引き起こした可能性がある」としている。	京都府
9月7日	90代	男性	呼吸器疾患	持病が悪化して肺炎を発症したため、7月15日に入院。 9月3日、検査でA型陽性と判明。 6日に死亡。	3日後	肺炎による呼吸不全 インフルエンザが肺炎を悪化させたとみられるとしている。	宮城県
9月9日	40代	男性	なし	7日に37.2度の発熱。インフルエンザと診断されタミフルを処方される。 8日、一旦は平熱に戻るも、9日午前、自宅で倒れているのを発見される。搬送先の病院で死亡確認。 その後の検査で新型インフルの感染を確認。	2日後	不明	大阪府

上記一覧は各社報道を基に(株)損保ジャパン・リスクマネジメントが作成